

開館 30 周年記念・東京富士美術館所蔵

「江戸絵画の真髄」

—秘蔵の若冲、蕭白、応挙、呉春の名品、初公開!!—

Edo Period Paintings: Their Ascendancy and Quintessence
—Masterpieces by Jakuchu, Shohaku, Okyo and Goshun—



伊藤若冲 (1716-1800) 《象図》 [本展出品の初公開作品]



(ポスターイメージ)

●展覧会名

開館 30 年周記念・東京富士美術館所蔵

「江戸絵画の真髄」

—秘蔵の若冲、蕭白、応挙、呉春の名品、初公開!!—

●主催

東京富士美術館

●会期

2014 年 4 月 8 日(火) ～ 6 月 29 日(日)

休館日：月曜日（5 月 5 日、6 日は開館。翌 7 日が振替休館）

※5 月 19 日(月)に展示替を行います [前期：4 月 8 日(火) ～ 5 月 18 日(日)、後期：
5 月 20 日(火) ～ 6 月 29 日(日)]

●会場

本館企画展示室 1～4

●開館時間

午前 10 時～午後 5 時（入場は午後 4 時 30 分まで）

●開催趣旨

東京富士美術館は 30 年の歩みの中で西洋絵画と共に多様な日本美術を収集してきました。なかでも近世の絵画が多く充実したコレクションを誇っています。美術館の役割の一つに美術品の調査・研究が挙げられますが、このたびは当館の長年の調査・研究により公開に至った作品をお披露目する機会として、江戸絵画の名品展を開催するはこびとなりました。本展は東京富士美術館が近年収集したコレクションを中心に、当館所蔵の江戸時代の優れた屏風、掛軸、巻子を精選し約 70 点を展示するものです。

本展では 1603 年から 1868 年までという約 260 年余の長きにわたる江戸絵画の流れを大きく 3 章に分け、第Ⅰ章では狩野派、琳派を中心に江戸時代の前期に形成された各派の作品を紹介します。第Ⅱ章では江戸時代の中頃、主に京都を舞台に活躍した伊藤若冲、曾我蕭白らを中心としたいわゆる「奇想派」と呼ばれるグループや池大雅をはじめとする文人画家、そして円山応挙、呉春らを祖とする円山四条派などの作品を紹介していきます。ここでは若冲、蕭白、応挙、呉春らの秘蔵の初公開作品 18 点を一挙展覧いたします。第Ⅲ章においては、鈴木其一の《風神雷神図襖》をはじめ、江戸時代後期を飾る各派の継承者たちによる多彩な作品群をご覧ください。

美術史的にも貴重な初公開作品をはじめ、「江戸絵画の真髄」ともいえる洒脱で精気にあふれた逸品の数々をご堪能いただければ幸いです。

●展示構成

第Ⅰ章 開花の時 ―江戸前期 狩野派、琳派の躍動

◆特集Ⅰ 物語絵の世界

第Ⅱ章 革新の時 ―江戸中期 奇想派、文人画家の台頭

◆特集Ⅱ 秘蔵の若冲、蕭白、応挙、呉春の名品、初公開 !!

第Ⅲ章 爛熟の時 ―江戸後期 各派の多彩な継承者たち

◆特集Ⅲ 南画の系譜

●関連イベント

「江戸絵画の真髄」展 記念講演会

演題：「東京富士美術館所蔵品にみる江戸絵画の魅力」

講師：岡田美術館館長・学習院大学名誉教授 小林 忠 氏

日時：5月5日(月祝) 14:00～15:00

会場：東京富士美術館・ミュージアムシアター

※時間を延長する場合がございます

「江戸絵画の真髄」展 特別ギャラリートーク

「江戸絵画の真髄」展を当館の担当学芸員が楽しく分かりやすくご案内いたします。

開催日：4月12日(土)、26日(土)、5月10日(土)、24日(土)、6月7日(土)、
21日(土)

※各日 14:00 から 1 時間程度

当館学芸員によるギャラリートーク

新館の常設展示を当館学芸員が楽しく分かりやすく解説いたします。

開催日：4月19日(土)、5月3日(土)、5月17日(土)、31日(土)、6月14日(土)、
28日(土)

※各日 14:00 から 1 時間程度

※各イベント参加には入場料金が必要。土曜は中小生無料

●同時開催

「明治の着色写真 Kimbei Kusakabe」

江戸末期から明治にかけて活躍した先駆的な写真家、日下部金兵衛(1841-1934)。写真家フェリーチェ・ベアト(1832-1909)のもとで着色技師として働いたことを契機に、自らも写真館を開き、西洋人が好む「日本」を手彩色で見事に表現しました。本展では主に 19 世紀の貴重な作品群を約 30 点公開します。

会期：4 月 4 日(金)～6 月 29 日(日) ※展示替え：5 月 19 日(月)

会場：新館・常設展示室 7～8

●入場料金

大人 800 (700) 円、大高生 500 (400) 円、中小生 200 (100) 円

※土曜日は中小生無料

※()内は割引料金 [20 名以上の団体・65 歳以上の方・当館メルマガ登録者ほか]

※障がい者及び付添者 1 名は半額 [証明書等をご呈示下さい]

※誕生日当日にご来館された方はご本人のみ無料

●交通案内

〔バス〕

JR 八王子駅北口 12 番のりば (平日・土曜の始発から 12:27 発までは 14 番のりば)
もしくは京王八王子駅 4 番のりばより、創価大正門東京富士美術館/創価大学循環行き
で「創価大正門東京富士美術館」にて下車

〔お車〕

中央高速八王子インターチェンジ第 2 出口より八王子市街方面へ進み、国道 16 号に合流、三つ目の信号を右折 (谷野街道入口)、直進し二つ目の信号を右折

●お問い合わせ先

東京富士美術館 〒192-0016 東京都八王子市谷野町 492-1

TEL：042-691-4511/4826(学芸部直通)

FAX：042-691-4623

担当：宮川謙一 (学芸部学芸課)

E-mail：miyagawa@fujibi.or.jp

●主な初公開作品



曾我蕭白（1730-1781）
《観瀑図（山水瀧図）》



曾我蕭白（1730-1781）
《山水図》



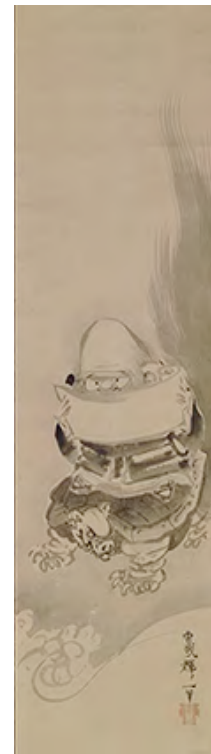
曾我蕭白（1730-1781）
《山水図屏風》



曾我蕭白 (1730-1781)
《鐘馗図(鬼神)》



曾我蕭白 (1730-1781)
《南泉斬猫図》



曾我蕭白 (1730-1781)
《亀寿花図 (亀仙人)》



伊藤若冲 (1716-1800)
《鶏図》



伊藤若冲 (1716-1800)
《鶏図》



円山応挙 (1733-1795)
《海棠金鶏図》



吳春（松村月溪/1752-1811）
《蘭亭脩契圖》

●その他の主な出品作品



狩野尚信（1607-1650）
《猛虎図》[重要美術品]



狩野益信（1625-1694）
《想夫恋》



伝 俵屋宗達（生没年不詳）
《松桜図屏風》



作者不詳
《源氏物語(車争)図屏風》



池大雅 (1723-1776)
《边溪闲游图》



池玉瀾 (1727-1784)
《溪上高隐图》



岸駒 (1756/1749?-1839)
《猛虎之图》



鈴木其一 (1796-1858)
《風神雷神图襖》(部分)